

防災講演会

『紙を使った伝承方法を考案』

入場無料

「3.11の語り部をしていたとき、来てくれた方に『震災当時の星空がすごくきれいだったんです』ってお話をしたら、『いやあ、あの星は絶望だったね』って言われたことがあるんです。綺麗と絶望、同じ景色を見ても全く違う感情があるんだなって思って…。」

A4用紙一枚を使って3.11の記憶を表現するプロジェクトをやっている岩槻さんの体験と活動から防災を考えてみませんか？



プロフィール (いわつき かお)

5歳の時に東日本大震災を体験する。中学2年生の時に気仙沼市の防災フォーラムに参加した際、他の学校の生徒さんたちが語り部の活動をしているのを見て、気仙沼市東日本大震災伝承館で語り部の活動を始める。その後、紙を使って感情にフォーカスしたプロジェクトを始める。現在19歳。

日時 令和6年8月24日(土) 13:30～15:30

場所 佐倉地区センター(御前崎市佐倉3617-1)

講師 岩槻佳桜氏

主催:特定非営利活動法人 御前崎災害支援ネットワーク

TEL/FAX 0537-86-2053